基礎分野　14 単位（330 時間）

＜ねらい＞

1. 広い視野で多様な価値観をもつ人間と社会を理解し、人間関係を築く能力を身につける。
2. 科学的思考を高め、主体的な判断と積極性を促し自らの人間形成に役立てる。
3. 倫理に基づく看護を実践するために、生命・人間の尊厳を考え自己の倫理観を養う。
4. 社会の多様化に対応するコミュニケーション能力やＩＣＴ(Information and Communication Technology)を活用するための基礎的能力を養う。

教育内容	授業科目	単位・時間数
科学的思考の基礎	教育学	1 単位　30 時間
	論理学	1 単位　15 時間
	心理学	1 単位　30 時間
	文章構成	1 単位　30 時間
	情報科学	1 単位　30 時間
人間と生活・社会の理解	社会学	1 単位　30 時間
	倫理学	1 単位　15 時間
	臨床倫理	1 単位　15 時間
	人間関係論基礎	1 単位　30 時間
	実践コミュニケーション	1 単位　30 時間
	英語Ⅰ	1 単位　15 時間
	英語Ⅱ	1 単位　15 時間
	保健体育	1 単位　30 時間
	運動と健康	1 単位　15 時間

基礎分野	授業科目	教育学	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	二宮　孝行		
科目目標 概　　要	1. 教育学の意義を確認するとともに、教育現場における今日的な課題について理解を深める。 2. 課題について講義内でのグループワークなどを通して、原因を探り、方法を考える。学校現場での国語科を理解し、役立つ情報を見に付け、医療現場で活用できる講義としたい。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	教育の意義	講義	有	二宮
2	教育学とは	講義	有	二宮
3	教育学と学校制度	講義	有	二宮
4	「今日的な課題とその対策①子どもの学力と体力」	講義	有	二宮
5	「今日的な課題とその対策② いじめ・不登校」	講義	有	二宮
6	「今日的な課題とその対策③ 子どもたちの心と体」	講義	有	二宮
7	「今日的な課題とその対策④ 体罰」	講義	有	二宮
8	「今日的な課題とその対策⑤ 児童生徒理解」	講義	有	二宮
9	「今日的な課題とその対策⑥ 教育格差」	講義	無	二宮
10	「国語科教育とは」	講義	有	二宮
11	「国語科教育の課題①話すこと聞くこと」	講義	有	二宮
12	「国語科教育の課題②書くこと」	講義	無	二宮
13	「国語科教育の課題③読むこと」	講義	無	二宮
14	「国語科教育の課題④文字指導等」	講義	無	二宮
15	試験			

〈　評　　価　〉

講義に使用したワークシート等を提出により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

講義では関連資料を配付する。またテキストは指定しないが、必要に応じて参考文献及び資料を紹介する。

・木村元他：系統看護学講座 基礎分野 教育学[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	論理学	1年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	二宮　孝行		
科目目標 概　　要	1. 多くの例題を通してトレーニングし、論理的思考と表現力を身に付ける。 2. 多職種と協働し、情報交換するための論理の基礎を学ぶ。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	論理学をなぜ学ぶか	講義・演習	有	二宮
2	三段論法	講義・演習	有	二宮
3	演繹法と帰納法	講義・演習	有	二宮
4	前提・逆・裏・対偶	講義・演習	有	二宮
5	接続表現	講義・演習	有	二宮
6	論理的文章を書く	講義・演習	有	二宮
7	論理的文章の推敲、まとめ	講義・演習	有	二宮
8	試験			

〈　評　　価　〉

授業の出席状況およびレポート・筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

講義では関連資料を配付する。またテキストは指定しないが、必要に応じて参考文献及び資料を紹介する。

基礎分野	授業科目	心理学	2年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	山縣　豊樹		
科目目標 概　　要	科目目標： 【レベル1】心理学の考え方に触れ，心理学の「学び方」を身につける。 【レベル2】心理学諸領域の代表的な研究・理論を概観し，心理学の基礎的事項を知る。 【レベル3】心理学の知識や理論に基づき、人間の「こころ」に関する意見を述べることができる。 　概要：「こころ」は，目には見えませんが，自分の身体や外界の環境と互いに影響を与えあっていて，切り離せないものです。このような「こころ」は，「心理学」という名前でまとめられた学問分野において，科学的に研究されてきました。この講義では，心理学に関するいくつかのトピックを紹介します。心理学は非常に幅広く，他の様々な分野とも関わっているので，この講義を通して，看護師の仕事と心理学がどのように関わるのかについても，いっしょに考えてみましょう。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	「心理学」とは	講義	有	山縣
2	「こころ」を探る方法	講義	有	山縣
3	「こころ」のしくみⅠ：感覚と知覚	講義	有	山縣
4	「こころ」のしくみⅡ：記憶	講義	有	山縣
5	「こころ」のしくみⅢ：学習	講義	有	山縣
6	心理学の歴史	講義	有	山縣
7	「こころ」と個性	講義	有	山縣
8	個人と集団	講義	有	山縣
9	「こころ」と文化	講義	有	山縣
10	「こころ」の健康	講義	有	山縣
11	「こころ」の発達	講義	有	山縣
12	「こころ」と遺伝・環境（1）	講義	有	山縣
13	「こころ」と遺伝・環境（2）	講義	有	山縣
14	「こころ」と脳・身体	講義	有	山縣
15	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験と小テストを，9:1 の比率で統合して決定する。ただし，COVID-19 感染症対策等の事情で，定期試験の代わりにレポートを課す場合がある。

〈　テキストおよび参考文献　〉

テキストは使用しない（講義内容に沿って，適宜関連書籍を紹介する予定）。参考文献としては，例えば以下のものが挙げられる。

山村豊他：系統看護学講座 基礎分野 心理学[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	文章構成	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	吉川　慶子		
科目目標 概　　要	自己発見・自己啓発を心がけつつ、基本となる文章技術をマスターし、書き慣れることで文章表現力を高める。 社会では、日常話したり書いたりする何気ない「言葉」すなわち国語表現によって、他者とのコミュニケーションが成立し、自分も評価される。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	言葉の機能、伝達とは何か	講義	無	吉川
2	書くべき内容の発見	講義	無	吉川
3	原稿用紙の使い方、作文「一日の出来事」	講義・演習	有	吉川
4	事実と意見の区別	講義	無	吉川
5	要約の仕方	講義	有	吉川
6	要約の実践	講義・演習	無	吉川
7	事実と意見の関係	講義	無	吉川
8	文章の構想・構成、反論の想定	講義	有	吉川
9	意見文「最近のニュースに思うこと」構成メモ	講義・演習	無	吉川
10	意見文「最近のニュースに思うこと」完成	講義・演習	無	吉川
11	文表現技術	講義・演習	無	吉川
12	敬語Ⅰ	講義・演習	無	吉川
13	敬語Ⅱ	講義・演習	無	吉川
14	手紙の書き方Ⅰ・Ⅱ	講義・演習	有	吉川
15	試験			

〈　評　　価　〉

作文などの課題と授業態度、筆記試験により総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・吉川慶子：国語表現法(上), 改訂版, 北大印刷, 121P, 2008.

基礎分野	授業科目	情報科学	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	工藤　祐司		
科目目標 概　　要	ICTを取り入れながら，情報リテラシーを学び，「情報」と「コミュニケーション」を、いかに「看護」の実践や学問としての「看護学」にいかすのかを学ぶ。 「情報」と「コミュニケーション」の専門職である看護師にとって、ICT（Information and Communication Technology）は、その専門性を発揮するために必要不可欠なものである。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.情報と情報化社会 1)情報の定義と特徴　2)情報化社会	講義・演習	無	工藤
2	3）情報リテラシー（メディアリテラシーを含む）	講義・演習	無	工藤
3	4）情報セキュリティ対策、情報モラル	講義・演習	無	工藤
4	2.情報と倫理 1）コンピューターリテラシーとセキュリティ	講義・演習	無	工藤
5	2）個人情報の保護	講義・演習	無	工藤
6	3）情報倫理と医療倫理 4）患者の権利と情報	講義・演習	無	工藤
7	3.保健医療における情報 1）保健医療と情報	講義・演習	無	工藤
8	2）看護と情報	講義・演習	無	工藤
9	3）医療における情報システム	講義・演習	無	工藤
10	4.情報処理 1）既存の情報の収集方法	講義・演習	無	工藤
11	2）調査によるデータ収集方法	講義・演習	無	工藤
12	3）Excelによる統計解析	講義・演習	無	工藤
13	4）文字情報の整理	講義・演習	無	工藤
14	5）情報の発表とコミュニケーション	講義・演習	無	工藤
15	試験			

〈　評　　価　〉

レポートおよび出席状況により総合評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・中山和弘編著：系統看護学講座 別巻 看護情報学[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	社会学	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	杉浦　勉		
科目目標 概　　要	1.「真に民主的で人間的な世界社会はいかにして可能か」という事について考えていく。 2.社会学は人間理解の根本に関わるべきであり、「人間による人間性による主題化をグローバルな場で行なうことである。 3.現代の家族は、核家族化と少子化、教育機能の外部化にともなって、社会化の機能を低下させている。「家族」を虚構と認識することから未来の「家族」の再構築を考えたい。 4.社会学は、人間の生と死に関わる深刻な問題を扱うよう要請されることになる。先端医療の発達は、心身問題と死生観の問題など医療自身と社会の両方に提起した。また、地球的規模の環境問題の発生により「生命」重視、地球全体を意識した社会への転換である。これが真の意味の「生命の時代」への転換である。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.社会と集団　「社会とは何か」網羅	講義	有	杉浦
2	【事例研究】環境問題・温暖化・食料問題	講義	有	杉浦
3	2.現代社会　「現代における社会問題とは」	講義	有	杉浦
4	【事例研究】社会保障・虐待	講義	有	杉浦
5	【事例研究】うつ病・自殺	講義	有	杉浦
6	【事例研究】LGBT・多様性・発達障害	講義	有	杉浦
7	3.家族　「家族の機能とは」	講義	有	杉浦
8	【事例研究】家族・少年犯罪	講義	有	杉浦
9	【事例研究】不登校・いじめ・引きこもり・教育格差	講義	有	杉浦
10	4.看護を取り巻く社会制度　「制度と人間」	講義	有	杉浦
11	【事例研究】不妊治療・代理出産	講義	有	杉浦
12	【事例研究】臓器移植・告知	講義	有	杉浦
13	5.看護という仕事「職業・仕事と成長・雇用・社会的地位」	講義	有	杉浦
14	【事例研究】チーム医療・終末期医療	講義	有	杉浦
15	試験			

〈　評　　価　〉

毎回のレポート・振り返りの内容、授業への意欲や態度、試験による理解度、知識力、思考力

〈　テキストおよび参考文献　〉

・山崎 嘉比古他：系統看護学講座 基礎分野 社会学, 第6版, 東京, 医学書院, 260p, 2021.

・今田高俊・友枝敏雄編纂：社会学の基礎, 有斐閣, 1991.

・野口裕二・大村英昭編集：編臨床社会学の実践, 有斐閣, 2001.

・日本の論点（毎年度版）　文藝春秋.

・マークス寿子：日本は何故ここまで壊れたか, 草思社, 2006.

・蓮見清一：ニッポンの問題点, 宝島社.

・徳永進：ナース to ナース, 関西看護出版, 265p, 1999.

基礎分野	授業科目	倫理学	2年次前後期　1単位　15時間
科目担当責任者	小笠原　由紀夫		
科目目標 概　　要	倫理学の基礎を学ぶ。具体的には生命倫理につながる功利主義を学び、現代の生命倫理の課題を考察する。 「看護倫理」のテキストを手引きとして、看護において求められる倫理の基礎とは何かということについて考える。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	序章　　1.「生命倫理」について	講義	有	小笠原
2	第1章　1.倫理学の基本的な考え方 1）倫理とは何か	講義	有	小笠原
3	2）倫理理論	講義	有	小笠原
4	3）他者理解と対話のための理論	講義	有	小笠原
5	第2章　1.生命倫理 1）生命倫理とは何か	講義	有	小笠原
6	2）生命倫理の理論	講義	有	小笠原
7	3）生命倫理と看護職の責務	講義	有	小笠原
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験（なお、宿題を課した場合は、宿題の出来栄えも評価の対象になる）により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・宮坂道夫：系統看護学講座　別巻　看護倫理[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	臨床倫理	3年次前後期　1単位15時間
科目担当責任者	戸田　悦子		
科目目標 概　　要	1. 生命科学の進歩に伴う現代医療の問題を通し、生命の尊さや人間の尊厳について考え自己の倫理観を深める。 2. 看護実践で遭遇する倫理的ジレンマを検討し、とるべき行動を導く過程がわかる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 生命倫理 1）生命倫理と看護職の責務 2. 性と生殖の生命倫理 1)性の生命倫理　2)生殖の生命倫理 3)生殖に関わる生命倫理の課題 3. 死の生命倫理 1)死について　2)死と医療　3)死について生命 4)倫理の課題	講義	有	戸田
2	4. 先端医療と制度をめぐる生命倫理 1)移植医療　2)再生医療　3)遺伝子医療 4）医療資源と医療保険制度	講義	有	戸田
3	5. 看護倫理 1)看護倫理の歴史 2)看護の倫理原則 3)看護実践上の倫理的概念 4)看護実践と倫理	講義	有	戸田
4	6. 専門職の倫理 1)専門職に求められる倫理（倫理綱領） 2)保健師助産師看護師法と倫理	講義	有	戸田
5	7. 倫理問題へのアプローチ 1)看護実践における倫理問題の特徴 2)倫理的問題へのアプローチ法	講義	有	伊波
6	8. 事例分析	講義･演習	有	伊波
7	9. 臨床における倫理的な諸問題への対応	講義	有	伊波
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験5割、提出物4割、授業の参加態度1割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･宮坂道夫：系統看護学講座　別巻　看護倫理[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	人間関係論基礎	1年次前後期　1単位　30時間
科目担当責任者	福田　信一		
科目目標 概　　要	家族関係についての望ましいあり方や職場における人間関係についてカウンセリング心理学の視点から考察する。 自我の発達と人間関係の発達について理論的に考察するとともに、交流分析を基に人間関係の様相を概観する。 前半は理論的考察を中心に講義形式で、後半は実践的な内容を演習的に取り扱う。		

回	内容	形態	資料	講師名
1･2	人間関係基礎論 1)人間関係の中の自己と他者　2)自己開示と人間関係 3)対人関係の成立　4)社会的役割と人間関係	講義	有	福田
3･4	人間関係発達の諸理論 1) 精神分析理論 2)「精神医学における人間関係論」 3)「認知発達論」	講義	有	福田
5･6	人間関係と交流分析 1) 理論構成　2)「エゴグラムの演習」	講義	有	福田
7･8	対人認知 1)ノンバーバルコミュニケーション　2)対人感情 3)対人認知の個人差とバイアス　4)ピグマリオン効果	講義	有	福田
9･10	人間関係とコミュニケーション 1)看護師の役割と意思伝達　2)カウンセリング 3)コーチングのスキル　4)共感の尺度 カウンセリングの技法	講義 演習	有	福田
11･ 12	心理療法の理論 1) 支持的精神療法　2)来談者中心療法 3)精神力動的精神療法　4)行動療法 5)認知療法　6)認知行動療法	講義 演習	有	福田
13･ 14	集団と個人 1)PM理論　2)リーダーシップ	講義 演習	有	福田
15	試験			

〈　評　　価　〉

授業の出席状況と筆記試験により評定する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

･石川ひろの：系統看護学講座　基礎分野　人間関係論[電子版],医学書院.

･山谷敬三郎「支えつづけること」ぎょうせい、平成14年

･星野欣生「人間関係づくり」金子書房

･澤田瑞也「人間関係の生涯発達」培風館など

基礎分野	授業科目	実践コミュニケーション	1年次後期　1単位　30時間
科目担当責任者	村本　好孝		
科目目標 概　　要	専門職として様々な相手（多職種を含む）と、協働してケアを提供していくための合意形成と、人間関係を築く態度や能力を学ぶ。 人間関係を形成するための諸理論を習得し、相互に影響を与えながら人が他者と形成する人間関係（保健医療チームを含む）について理解できる。 看護職において、人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養うことは社会から広く求められています。多様化する社会の中で、ケアの対象である患者の持つ価値観や期待を理解し、尊重することが必要です。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1. 人間関係をつくる理論と技法 1) コーチングの理論とスキル	講義	無	村本
2	2) アサーティブーコミュニケーション (1) アサーションの理論とスキル (2) 看護への応用	講義・演習	無	村本
3	2. ポジティブ心理学 1) ポジティブ感情	講義・演習	無	村本
4	2) ウエルビーイング	講義・演習	無	村本
5	3) ストレングス	講義・演習	無	村本
6	4) マインドフルネス	講義・演習	無	村本
7	5) セルフ・コンパッション	講義・演習	無	村本
8	6) レジリエンス	講義・演習	無	村本
9	3. ポジティブ心理学の看護への活用	講義・演習	無	村本
10	4. 保健医療における人間関係 1) 医療におけるチームと看護師の役割 2) 多職種連携	講義・演習	無	村本
11	3) チームワークとチームエラー、その予防	講義・演習	無	村本
12	2) 患者を支える人間関係 (1) 患者ー看護者間の相互作用の評価（リフレクション）	講義・演習	無	村本
13	(2) さまざまな看護場面における人間関係	講義・演習	無	村本
14	5. 地域をつくる人間関係	講義・演習	無	村本
15	試験			

〈　評　　価　〉

レポートと出席状況・授業態度など総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

・石川ひろの：系統看護学講座　基礎分野　人間関係論[電子版],医学書院.

基礎分野	授業科目	英語Ⅰ	1年次前期　1単位　15時間
科目担当責任者	古白川　直美		
科目目標 概　　要	1.看護・医療専門の英語力を身につける。 2.日常英会話を通じて、基本的なcommunication能力や文法力を養う。 3.短文（患者の権利章典、看護・医療情報等）を読解する力を養う。 4.英語独特のイントネーション・リズム等に慣れることで、聞き取る力を養う。 5.英語圏で暮らす人々の文化や生活習慣を知る。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	1.基礎医療語彙・読解・看護現場に必要な会話 1)身体の部位	講義･演習	有	古白川
2	2)症状と兆候の表現	講義･演習	有	古白川
3	3)カルテ	講義･演習	有	古白川
4	4)診療科	講義･演習	有	古白川
5	5)医療専門用語の構造	講義･演習	有	古白川
6	6)患者の観察とバイタルサイン	講義･演習	有	古白川
7	7)与薬	講義･演習	有	古白川
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験で評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

＊下記の文献より、担当講師が資料作成し、配布します。

1.看護師たまごの英語40日間トレーニングキット / 平野美津子・菱田治子 / アルク
Health Talk/Yoko Watanabe,Pamela Uchida/Pearson Education
2.クリスティーンのやさしい看護英会話/知念クリスティーン・上瀧真紀恵/医学書院
3.はじめての看護英語/尾崎哲夫/医学書院
Side by Side Book１ / Steven J Molinsky ,Bill Bliss / Longman
Side by Side Activity Workbook １/ Steven J Molinsky, Bill Bliss / Longman
Elementary Communication Games /Jill Hadfield / Nelson
Play Games With English 1・2 / Colin Granger / Heinemann
In a Dark Dark room and Other scary stories / Alvin Schwartz

基礎分野	授業科目	英語Ⅱ	3年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	佐藤　有		
科目目標 概　　要	1. 基礎的な英語会話の学習をする。 2. 看護・医療に係わる英文資料に基づいた学習（「読み・書き・聴く・話す」）、並びに現場で想定される。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	Essay Structure①（英語エッセイの全体構造）	講義	有	佐藤
2	Nurse-Patient Communication（来院会話）①	講義	有	佐藤
3	Nurse-Patient Communication （感情移入を中心に精読）②	講義	有	佐藤
4	Nurse-Patient Communication（測定会話）③	講義	有	佐藤
5	日常生活支援の英語と災害の英語（会話）	講義	有	佐藤
6	Coronavirus Protection （コロナウイルス予防対策）	講義	有	佐藤
7	WHOないしCDC（アメリカ疾病予防局）からの ニュース	講義	有	佐藤
8	試験			

〈　評　　価　〉

筆記試験より評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

教科書は使用しません。資料は配布する。

〈 参考書 〉

英語の辞書を用意してください。

基礎分野	授業科目	保健体育	1年次前期　1単位　30時間
科目担当責任者	安部　久貴		
科目目標 概　　要	1. 様々な運動・スポーツの実践を通して，運動・スポーツがもつおもしろさを味わいながら，体を動かすことの意義を認識し，日々の生活に運動・スポーツを積極的に取り入れることができる。 2. 運動・スポーツのもつ価値，多様なあり方を理解できる. 3. 実施する運動・スポーツのルール・特性を理解し，主体的に実践に取り組むことができる。		

回	内容	形態	資料	講師名
1	オリエンテーション	講義	有	安部
2	スポーツとは何か	講義	有	安部
3	運動・スポーツの多様なあり方	講義	有	安部
4	運動・スポーツと健康	講義	有	安部
5	体のセルフチェック，アイスブレイクゲーム	実技	有	安部
6	アダプテッドスポーツ	実技	無	安部
7	アダプテッドスポーツ	実技	無	安部
8	アダプテッドスポーツ	実技	無	安部
9	アダプテッドスポーツ	実技	無	安部
10	ボール運動	実技	無	安部
11	ボール運動	実技	無	安部
12	ボール運動	実技	無	安部
13	ボール運動	実技	無	安部
14	ボール運動	実技	無	安部
15	試験			安部

〈　評　　価　〉

技能試験・授業態度・出席を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

テキストは使用しません。必要な場合は講師がレジュメを用意する。

※ジャージ・Tシャツ・運動靴等動きやすい服装で臨んでください。

※種目・時間数については変更する場合があります。

基礎分野	授業科目	運動と健康	3年次後期　1単位　15時間
科目担当責任者	笹木　笑子　　椿原　宏哉		
科目目標 概　　要	1. レクリエーションを通して、対象にあった楽しさを共有し、生涯学習を体験する。 2. レクリエーションで人間交流術を学び、身体の動きを使い自己表現をする。 3. 看護の対象者にあった運動の方法や、コミュニケーションを体験する。 4. 心身のリラックスと体力の維持・増進をはかる。 5. あらゆるレクリエーション（ゲーム・ソング・ダンス・ニュースポーツ・クラフト・軽スポーツ他）をつかい人間交流術、コミュニケーション・ワーク、ホスピタリティ・トレーニングとアイスブレーキングを学習する。（対象者にあったアレンジ法を学習する）		

回	内容	形態	資料	講師名
1	基本概念, コミュニケーション ワーク, アイスブレーキング	実技	無	笹木
2	コミュニケーション・ワーク ホスピタルトレーニング	実技	無	笹木
3	コミュニケーション・ワーク ライフステージ・レクリエーション	実技	無	笹木
4	実技試験			笹木
5	アイスブレーキング自己の心を開放。 リラクゼーション、気功（通天貫地功法）練功。	実技	無	椿原
6	インディアカ体験とディスコン体験。生涯スポーツ種目の実技と実際の学習。身体を動かし楽しさ	実技	無	椿原
7	レクリエーション行事の企画運営の手順と対象者にあった、実技指導の実際を体験学習する。 コミュニケーション過程の観察評価法を学習する。	実技	無	椿原
8	試験			椿原

〈　評　　価　〉【笹木講師】　「意欲・態度 30%」「課題（創作ダンス）50%」「まとめ（レポート）20%」により評価する。

【椿原講師】　レポート提出と簡単な実技試験と受講時間数により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

レクリエーションの意義とキンボール、インディアカ、ディスコン他解説のプリント必要時提示する。

以下は参考図書

・福祉養成講座編集員会編集：レクレーション活動援助法, 中央法規, 2007.

・和田芳治：基礎楽力　人間交流術入門, レコネット, 2004.

・林　中鵬：通天貫地功法　図解, ロングセラーズ, 1990.